

【注意事項】ご入稿前に必ずお読みください。

- 印刷入稿データは、Adobe illustrator 形式もしくは Photoshop 形式ファイルのみ受付可能です。
- illustratorのバージョンは Creative Cloud まで対応可。
- 必ず、ご注文のサイズに対応したテンプレートを使用してお入稿ください。
- データのカラーモードはすべて「CMYK」です。特色やRGBでのデータをご入稿された場合は、**すべてCMYKに変換しての印刷**となりますので、データと仕上がりの色味が大きく異なる場合がございます。
※原則的にデータチェック対象外になりますのでご注意ください。
- この商品は、**カットラインおよび印刷範囲が完全固定**です。
- 「片面印刷」「両面印刷」ともに、商品の裏面への印刷となります。
- 印刷範囲は、商品サイズから若干小さくなっております。**完全なフチなし印刷には対応しておりません。**

Illustrator でのデータ制作

- **フォントは必ずアウトライン処理**を行ってください。
- データに画像を使用した場合、必ず「画像の埋め込み」を行ってください。
- 配置される**画像データの解像度は、原寸の画像サイズで最低300dpi (推奨は350dpi)**を推奨しております。
※低解像度の画像を配置されている際、原則的にデータチェック対象外になりますのでご注意ください。
また、画像データが低解像度による仕上りの品質に対しての責任は負いかねますので、ご了承ください。

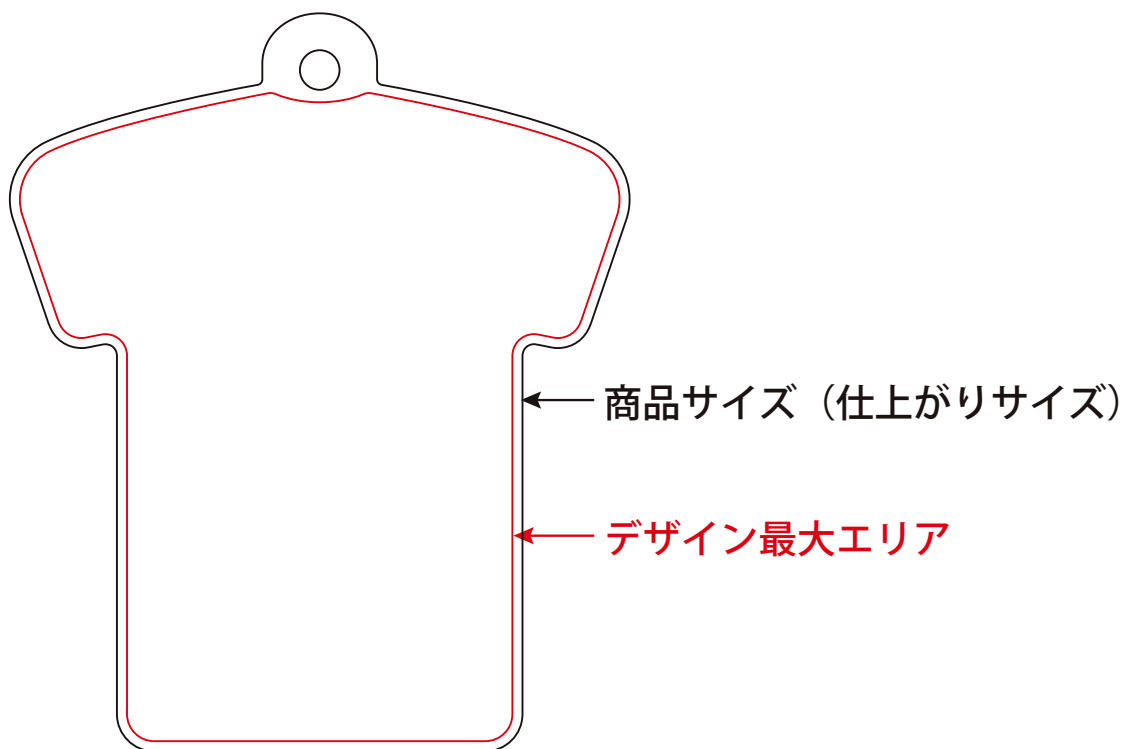
Photoshop でのデータ制作

- **フォントは必ずラスタライズ**を行ってください。
- **レイヤーは結合せず**、PSDデータのままで入稿ください。
また、レイヤー名に（入稿時非表示）と記載があるレイヤーを非表示にしてください。
- 入稿ファイルのカラーモードを**RGBに変更しないでください。**
- テンプレートの画像解像度(350dpi)は**変更しないでください。**

著作権・肖像権の取り扱いについて

「著作権・肖像権の侵害」に該当する内容のものに関しては印刷をお断りさせて頂いております。
弊社にて「著作権・肖像権の侵害」の可能性があると判断した場合、ご注文をキャンセルさせて頂きます。

テンプレートデータの各項目について



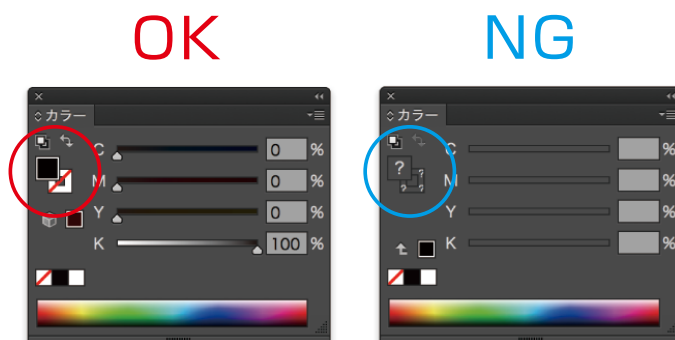
白ベタ作成上の注意点

- 白インクの使用には、白ベタ用のデータを白ベタレイヤーに制作が必要です。
- 白ベタ用のデータは、「K100%」で作成してください。
- ぼかし・グラデーションのような濃度差を表現することはできません。必ず濃度 100% での出力となります。
- 白ベタ用のデータは、マスクを使用して制作しないでください。
- デザイン上、部分的に抜きになされたい場合、黒ベタの上にホワイトのオブジェクトで配置し抜きを表現せず、必ず配置されているオブジェクトが「K100%」のみが配置されているように「抜き」でご制作ください。

ご入稿前に必ずチェック!

【不備のない受付可能な白版の確認方法】

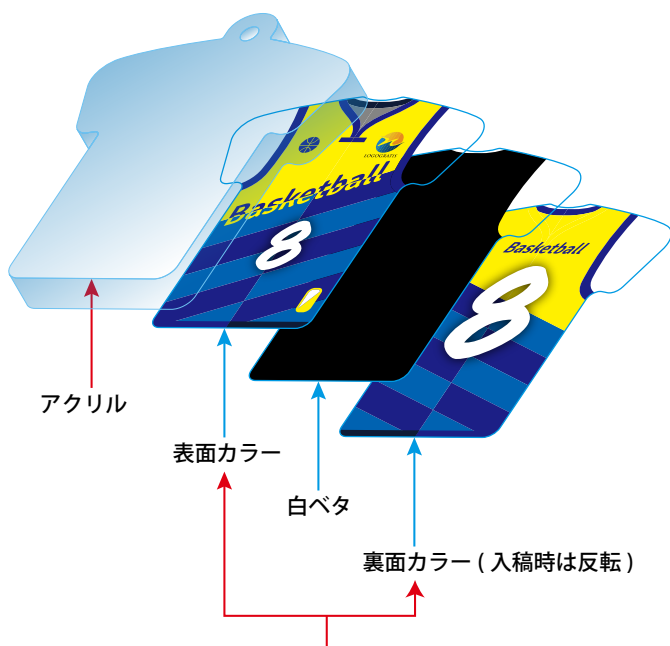
データ制作を行った際に配置した、全てのオブジェクトを一括選択し、カラーウィンドウが下記の「OK」の状態のように、**塗りK100%のみ**であれば、受付可能なご入稿データです。



両面印刷について

※片面印刷の場合は
「表面」のみデザインしてください。

【版の重ね順イメージ】



【表面】と【裏面】は
【裏面】を反転して配置した時に
【表面】とぴったり重なるように
同じ向き、同じ位置で
デザインを作成してください。

【完成イメージ】



表面

裏面

作成例

【よくある作成ミス】

白ベタ用のデータが
CMYKデータをグレースケールに
変換しただけの状態。
必ず「K100%」の単色で
作成して下さい。

×



注意!!

裏面の文字は
反転して配置



表面デザイン
(CMYK)



白ベタ印刷
(K100%)



裏面デザイン
(両面印刷ありの場合)



表面

完成!!



裏面

白ベタ作成上の注意点

- 白インクの使用には、白ベタ用のデータを白ベタレイヤーに制作が必要です。
- 白ベタ用のデータは、「K100%」で作成してください。
- 白ベタは、グレーションのような濃度差を表現することは出来ません。必ず濃度100%の出力となります。
- 白ベタ用のデータは、マスクを使用して制作しないでください。
- デザイン上、部分的に抜きになされたい場合、黒ベタの上にホワイトのオブジェクトで配置し抜きを表現せず、必ず配置されているオブジェクトが「K100%」のみが配置されているように「抜き」でご制作ください。

両面印刷についての注意点

- 両面印刷をご希望の場合は、「裏面デザイン」レイヤーにデザインを作成してください。
- 裏面デザインは表面とぴったり重なるよう同じ向き、同じ位置で作成してください。
- 裏面に文字を配置する場合は、文字が反転した状態で配置してください。
- デザインによっては、表面のデザインが透けてしまう場合があります。